学校番号	304

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「世界史Ａ」　（第一学習社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・諸資料に親しみ、歴史的思考力を養う。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を理解し、現在の日本の姿をとらえる。

２　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと流れを、地理的条件と日本の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や成果を適切に表現している。	近現代史を中心と刷る世界の歴史に関する諸資料を収集し、年表や地図などを利用するなかで、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート 〔主題学習〕 ディスカッション	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート ポスターセッション	定期考査 〔主題学習〕 ディスカッション

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界史へのいざない	・自然環境と歴史 ・日本列島の中の世界の歴史	○ 	 ○	 ○	○ ○	a:自然環境と歴史、日本と世界の歴史の繋がりを意欲的に学び、関心を高める。 b:学習内容について考察し、歴史の過程や背景を適切に表現している。 c:考察や理解に必要な情報や資料を収集し、選択して図表などにまとめたりする。 d:日本と世界の歴史について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	ワークシート
	ユーラシア諸文明の交流	・文明のはじまり ・ユーラシア諸文明の特質 ・ユーラシアの交流	○ ○	○ ○ 	 ○ 	 ○	a: ユーラシア大陸各地に発生した諸文明の特質と、ユーラシア文明の発展と交流を意欲的に学び、関心を高める。 b:学習内容について考察し、ユーラシア文明発展の過程や背景を適切に表現している。 c:考察や理解に必要な情報や資料を収集し、選択して図表などにまとめたりする。 d: ユーラシア各地の諸文明とその特質を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査
2学期	アジア諸国の繁栄とヨーロッパ	・東アジア世界の繁栄 ・世界の一体化 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制の形成	○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ 	a: 大航海時代における西欧の拡大、ルネサンス、宗教改革、主権国家の形成を意欲的に学び、関心を高める。 b:学習内容について考察し、世界の諸地域の発展やその一体化の過程や背景を適切に表現している。 c:考察や理解に必要な情報や資料を収集し、選択して図表などにまとめたりする。 d: 東アジア諸国の繁栄、西欧世界の拡大と発展を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート

2学期	大西洋世界の変容とその波及とアジア諸国の変貌	・産業革命と工業化社会 ・アメリカ独立戦争 ・フランス革命とナポレオン戦争 ・ウィーン体制とその崩壊 ・アジア、ラテンアメリカの変動 ・東アジアの変容と日本	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:18 世紀以降の諸地域の様子について、社会の変化、新しい思想の出現、ヨーロッパの進出、アジア、ラテンアメリカの変容を意欲的に学び、関心を高める。 b:18 世紀以降についての諸地域世界の変容について考察し、歴史の過程や背景を適切に表現している。 c:考察や理解に必要な情報や資料を収集し、有用な情報を選択して図表などにまとめたりする。 d:18 世紀以降の諸地域の変容についての基本的な事項と世界の一体化を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査
3学期	現代の世界の日本	・帝国主義 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・大戦後のヨーロッパ ・全体主義の登場 ・第二次世界大戦 ・冷たい戦争 ・多様化する世界 ・冷戦の終結と現代世界	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ 	a: 19 世紀末から 20 世紀にかけての世界の変化や、2 つの大戦の原因や影響に対する関心を高め、現代社会に関する世界への影響を意欲的に学び、関心を高める。 b:20 世紀以降の具体的な社会の変容について考察し、2 つの世界大戦の過程やその背景を適切に表現している。 c:20 世紀という時代の特質、その後の世界への考察や理解に必要な情報や資料を収集し、有用な情報を選択して図表などにまとめたりする。 d:20 世紀という世界の特質の基本的な事項を理解し、その知識を身につける。	ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。